

全学履修規程

運営委員会
平成23年3月9日制定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規程は、愛知東邦大学学則（以下「学則」という。）第5章（教育課程及び履修方法等）、第6章（卒業の要件等）に定める事項について定める。

第2章 卒業条件等

(卒業条件)

第2条 本学を卒業するためには、4年間以上にわたり在学し、学則のほかこの規程に規定するところに従い、所定の単位を修得しなければならない。

(卒業要件単位数)

第3条 学則第19条に定める卒業に必要な単位は、次のとおりとする。

(1) 経営学部地域ビジネス学科

① 平成13～16年度入学生・平成15～18年度編入学生適用

総合基礎科目 40単位（内、必修および選択必修科目12単位）

専門科目 68単位（内、必修科目14単位）

開設科目全域より 16単位

合計 124単位

② 平成17年度入学生適用・平成19年度編入学生適用

総合基礎科目 38単位（内、必修および選択必修科目14単位）

専門科目 72単位（内、必修および選択必修科目28単位）

開設科目全域より 14単位

合計 124単位

③ 平成18年度入学生適用

総合基礎科目 38単位（内、必修および選択必修科目10単位）

専門科目 72単位（内、必修および選択必修科目28単位）

開設科目全域より 14単位

合計 124単位

④ 平成19～20年度入学生適用

総合基礎科目 38単位（内、必修および選択必修科目14単位）

専門科目 72単位（内、必修および選択必修科目28単位）

開設科目全域より 14単位

合計 124単位

⑤ 平成21～22年度入学生適用

総合基礎科目 38単位 (内、必修および選択必修科目14単位)

専門科目 72単位 (内、必修および選択必修科目32単位)

開設科目全域より 14単位

合計 124単位

⑥ 平成23～25年度入学生適用

総合基礎科目 42単位 (内、必修および選択必修科目22単位)

専門科目 72単位 (内、必修および選択必修科目28単位)

開設科目全域より 10単位

合計 124単位

⑦ 平成26年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目14単位)

専門科目 84単位 (内、必修および選択必修科目22単位)

開設科目全域より 8単位

合計 124単位

⑧ 平成27年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目14単位)

専門科目 84単位 (内、必修および選択必修科目22単位)

開設科目全域より 8単位

合計 124単位

⑨ 平成28年度以降入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目14単位)

専門科目 84単位 (内、必修および選択必修科目22単位)

開設科目全域より 8単位

合計 124単位

(2) 経営学部国際ビジネス学科

① 平成28～30年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目12単位)

実践英語科目 24単位 (内、必修科目8単位)

専門科目 68単位 (内、必修および選択必修科目36または40単位)

合計 124単位

② 平成31年度以降入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目12単位)

実践英語科目 24単位 (内、必修科目8単位)

専門科目 68単位 (内、必修および選択必修科目36単位)
合計 124単位

(3) 人間健康学部人間健康学科

① 平成19～22年度入学生適用

総合基礎科目 32単位 (内、必修および選択必修科目10単位)
専門科目 84単位 (内、必修科目および選択必修科目28単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

② 平成23～25年度入学生適用

総合基礎科目 38単位 (内、必修および選択必修科目20単位)
専門科目 78単位 (内、必修科目および選択必修科目24単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

③ 平成26～29年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目14単位)
専門科目 84単位 (内、必修科目および選択必修科目26単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

④ 平成30年度以降入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目12単位)
専門科目 84単位 (内、必修科目および選択必修科目26単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

(4) 教育学部子ども発達学科

① 平成26～29年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目14単位)
専門科目 84単位 (内、必修科目および選択必修科目70単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

② 平成30年度入学生適用

全学共通科目 32単位 (内、必修および選択必修科目12単位)
専門科目 84単位 (内、必修科目および選択必修科目68単位)
開設科目全域より 8単位
合計 124単位

③ 平成31年度以降入学生適用

全学共通科目 26単位 (内、必修および選択必修科目14単位)

専門科目	90単位（内、必修科目および選択必修科目24単位）
開設科目全域より	8単位
合計	124単位

第3章 履修コース・履修登録等

（コース制）

第4条 養成する人材像を明確に示し、そのための体系的な学修を確実にを行うことを目的に、各学部学科にコースを置く。

2 経営学部地域ビジネス学科における各コースの目的は、以下のとおりである。

- (1) 次世代ビジネスコースは、最新のビジネス情勢を幅広く見据え、次世代のビジネス展開に的確に対応できる人材を養成する。
- (2) 広告・メディアコースは、民間企業や自治体、非営利組織で広告・広報を担う人材を養成する。
- (3) 観光・サービスコースは、観光、ホテル、ブライダルをはじめとするサービス業全般で活躍できる人材を養成する。
- (4) スポーツ・マネジメントコースは、スポーツ、レジャー関連企業・団体などでマネジメント能力を発揮できる人材を養成する。

3 人間健康学部人間健康学科における各コースの目的は、以下のとおりである。

- (1) スポーツトレーナーコースは、競技力向上や傷害予防、健康増進を支援するトレーナーを目指す人材を養成する。
- (2) スポーツ指導者コースは、学校、公的スポーツ施設・団体等でスポーツ指導ができる人材を養成する。
- (3) 健康づくり指導者コースは、健康増進施設、社会福祉施設等で福祉の視点を持って、健康づくりを支援する人材を養成する。
- (4) 心理・カウンセリングコースは、心理職・カウンセラー・企業内相談員等を目指す人材を養成する。
- (5) 地域防災コースは、地域、学校、企業などの防災・減災活動を支援する人材を養成する。

4 教育学部子ども発達学科における各コースの目的は、以下のとおりである。

- (1) 初等教育コースは、就学前教育を理解した小学校教諭を養成する。
- (2) 幼児教育コースは、幼稚園教諭および保育士を養成する。

（履修基準およびコース必修）

第4条の2 教育学部子ども発達学科における各コースの専門科目履修基準およびコース必修は別表1のとおりとする。

（多様なメディアを高度に利用して行う授業）

第4条の3 本学において「多様なメディアを高度に利用して行う授業」を実施することができる。実施に関する詳細は別に定める。

(履修登録)

第5条 授業科目を履修し単位を修得するためには、毎学期のはじめ、所定の期間に履修科目を登録しなければならない。登録をしていない科目の履修をすること及び受験をすることはできない。

2 病気、その他やむをえない理由により所定の期間に履修登録できない場合は、直ちに届け出て指示を受けなければならない。ただし、学期開講日数の3分の1を経過した科目の履修登録は認めない。

3 4年次後期開設の「専門演習」または「卒業研究指導Ⅲ」を再履修し、かつ本人が9月卒業を希望する場合は、前期に本科目を履修することができる。

4 本学が指定する期間に、必修科目を除く科目の履修登録削除を行うことができる。

(履修単位)

第6条 経営学部地域ビジネス学科、人間健康学部人間健康学科、教育学部子ども発達学科の学生が、各学期に履修登録できる授業単位数の上限は24単位とする。また、経営学部国際ビジネス学科の学生が、各学期に履修登録できる授業単位数の上限は22単位とする。

2 集中講義科目を履修する場合は前項の上限を超えて履修登録することができる。

3 人間健康学部人間健康学科の教職課程において、全学共通科目または専門科目に含まれない教職課程の科目を履修する場合は、第1項の上限を超えて履修登録することができる。

4 履修登録学期の直前学期のGPAが3.0以上の場合、第1項の上限を超えて4単位分の科目を追加して履修登録することができる。

(履修の制限)

第7条 既に単位を修得した科目は、履修することができない。

2 必修科目の再履修は、原則として次年度において行わなければならない。

3 上級学年配当科目は、履修することができない。

4 同一時限に2つ以上の科目を重複して履修することはできない。ただし、科目の授業時間数が8週以下の科目は除く。

5 科目により、履修人数を制限することがある。

第4章 授業

(授業時間数)

第8条 授業時間数は、前期及び後期に、それぞれ15週を原則とする。

(授業時間帯)

第9条 授業時間帯は次のように定める。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00～10:30	10:40～12:10	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

※なお、土曜日の授業時間帯については、1時限から4時限までとする。

(授業の変更)

第10条 年度途中、やむをえない事情で、授業の日程や教室を変更する場合がある。変更についてはその都度通知する。

(休講)

第11条 やむをえない事情により授業が行えない場合は休講とする。また、その他教務委員長が判断した場合は休講とする。休講はその都度通知する。

2 台風の接近によって、名古屋市に暴風警報が発令された場合の休講は次のとおりとする。

(1) 午前7時の時点で警報が解除されていない場合は、1・2時限を休講とする。

(2) 午前11時の時点で警報が解除されていない場合は、3・4・5・6時限を休講とする。

(3) 午前7時以降に警報が発令された場合は、それ以降の授業は休講とする。ただし、実施中の授業については、教務委員長が中止または続行の決定を行うことにする。

3 「南海トラフ地震に関する情報」が発令された場合は、全授業を直ちに中止する。

4 防災規程第17条に定める災害対策本部が設置された場合は、災害対策本部の判断に基づき、全ての科目を休講とする。

第5章 試験および単位の認定等

(試験の種類)

第12条 試験の種類は、期末試験、追試験、再試験とする。

(試験の方法)

第13条 試験の方法は、筆記試験、実技試験、レポート試験ならびにその他の方法によるものとする。試験の方法は担当教員が定める。

(試験の発表)

第14条 期末試験、追試験、再試験における試験の方法、期日等はあらかじめ告知する。

(試験の実施)

第15条 期末試験、追試験、再試験における筆記試験および実技試験は次の通り実施する。

(1) 試験時間は原則として1科目60分とし、試験時間帯は次のように定める。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限
9:00～10:00	10:40～11:40	13:00～14:00	14:40～15:40	16:20～17:20	18:00～19:00

(2) 受験に際しては学生証を机上に提示しなければならない。学生証を携帯していない場合は、受験許可証をもって代えることができる。

(3) 試験開始後10分を経過した後は試験場への入室は認めない。また試験開始後30分以内は退室を認めない。なお、中途退室する場合も解答用紙は必ず提出しなければならない。

(レポート試験の方法)

第16条 期末試験、追試験、再試験におけるレポート試験の提出は、特別な指示がない限り、指定された期日、方法で提出しなければならない。

(その他の方法)

第16条の2 その他の方法により試験を実施する場合は、各授業担当者より具体的な方法等

を示さなければならない。

(受験資格)

第17条 次の各号に該当する場合は、その科目の受験資格がないものとする。

- (1) 履修登録をしていない科目
- (2) 授業の欠席が3分の1を超えた科目
- (3) 学費を納めていない者の全科目

(平常試験)

第18条

(削除)

(期末試験)

第19条 期末試験は前期末試験ならびに後期末試験とし、期間を定めて実施する。

- 2 集中講義科目およびその他の方法による期末試験は別に期日を定めて実施することができる。

(追試験)

第20条 前条の期末試験の当日に次の事由により受験できなかった場合は、教務委員会の審査のうえ当該科目の追試験を実施する。

- 2 前項の追試験には、レポートによる試験を含める。

事由	証明書
災害等	被災証明書
交通事故	事故証明書
病気・けが	診断書あるいは入院証明書
就職試験（就職試験を受験する条件として課されている説明会参加を含む）	受験証明書（就職試験を受験する条件として課されている説明会参加証明書）
第2親等以内の葬儀 （死亡の日から7日以内）	会葬御礼等
その他大学が認める事由	事由書

(追試験手続)

第21条 追試験受験希望者は、当該科目の試験実施日前後各1週間以内に証明書を添えて願出しなければならない。

(再試験)

第22条 期末試験の成績が不合格（D）でかつ30点以上の者に対して、担当者の判断により再試験を実施する場合は、所定の期日までに所定の様式により再試験を願出たときに、これを許可する。

(再試験手続)

第23条 再試験を許可された者は、1科目2,000円の再試験料を納めなければならない。

(不正行為)

第24条 試験において不正行為をおこなった場合の処置については、別に定める。

(単位の修得)

第25条 単位は、期末試験、平常評価、追試験、再試験において合格と判定された場合に修得できるものとする。

(単位の認定)

第26条 単位の認定は、各授業担当者が行うものとする。

(成績評価等)

第27条 成績は下記の基準によって評価し、A+・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。

評価	素点	Grade Point
A+	100点から90点	4
A	89点から80点	3
B	79点から70点	2
C	69点から60点	1
D	59点以下	0

2 再試験の成績評価は、Cを合格、Dを不合格とする。

3 編入学ならびに転入学生の既修得単位、および他の大学又は短期大学における既修得単位、他の大学又は短期大学以外の教育施設等における学修による単位、愛知県単位互換事業等により他大学等で修得した単位の認定は、N(認定)と表示し、成績評価は表示しない。

4 試験を受験しなかった場合は、K(棄権)と表示し、Grade Pointを「0」とする。

5 失格は、Sと表示し、Grade Pointを「0」とする。

6 再試験を受験した場合、60点以上の者に対しては、素点を60点とし、成績評価をCとする。

(成績発表)

第28条 成績の発表は、大学の指定する期間に行う。

(進級制限)

第29条 2年次終了時に卒業要件に含まれる総修得単位数40単位未満の者または「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」のいずれかの単位を未修得の者については、第2項に規定する場合を除き、3年次への進級を認めないものとする。

当該進級制限は教授会の意見を聞いて、学長が行う。

2 教授会は、2年次終了時に卒業要件に含まれる総修得単位数が30単位以上40単位未満で、かつ、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の単位を修得している者について、仮進級として3年次への進級を認めることができる。

3 仮進級した者のうち3年次終了時の卒業要件に含まれる総修得単位数が50単位未満で

あった者は、4年次に進級できないものとする。

当該進級制限は教授会の意見を聞いて、学長が行う。

(学業指導及び退学勧告)

第30条 第27条に定めるGrade Pointの平均値 (Grade Point Average 以下GPAという。)が1.0未満の場合は、当該学期に学科教員による面談指導を行う。

2 GPAが2期連続して1.0未満の場合は、学科教員は前項の面談指導に加え、当該学生の保証人と学業継続支援についての協議を行う。

3 GPAが4期連続して1.0未満の場合または4期以上の学期において通算GPAが1.0未満の場合は、学部長が面接を行う。学部長は面接結果を教授会に報告し、学業成績改善の可能性が認められないと教授会にて認定された場合は、学長が退学勧告を行う。

附則

1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。

2 この規程の施行により、教授会制定の「教職課程履修細則」を廃止する。

3 この規程は改正(第11条)により、平成24年9月5日より施行する。

4 この規程は改正(第3条、第4条、第4条の2(追加)、第5条、第6条、第15条)により、平成26年4月1日から施行する。

5 第4条、第4条の2は、平成26年度入学生より適用する。

6 人間学部子ども発達学科の学生については、第3条の規定にかかわらず、以下の規定適用する。

人間学部子ども発達学科

① 平成19年度～平成22年度入学生適用

総合基礎科目 32単位(内、必修および選択必修科目10単位)

専門科目 84単位(内、必修科目および選択必修科目80単位)

開設科目全域より 8単位

合計 124単位

② 平成23年度～平成25年度入学生適用

総合基礎科目 30単位(内、必修および選択必修科目20単位)

専門科目 86単位(内、必修科目および選択必修科目75単位)

開設科目全域より 8単位

合計 124単位

7 この規程は改正(第26条、第29条)により、平成27年4月1日から施行する。

8 平成27年度以前の入学生については、改正後の第4条、第6条の規程にかかわらず、従前の規程を適用する。

9 この規程は改正(第3条、第4条、第6条、第15条、第26条、第29条、第30条)に

より、平成28年4月1日から施行する。

10 この規程は改正（第29条）により、平成30年3月1日から施行する。

11 この規程は改正（第3条、別表1）により、平成30年4月1日から施行する。

12 この規程は改正（第3条、第4条、第5条、別表1）により、平成31年4月1日より適用する。

13 この規程は改正（第1条、第2条、第5条、第6条、第7条、第10条、第11条、第14条、第22条、第24条、第27条）により、令和2年4月1日より施行する。

14 この規程は改正（第4条の3、第16条の2、第19条）により、令和2年7月1日より施行する。

別表 1

(1) 平成26～29年度入学生適用

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目				
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保		
基礎科目	教職概論(幼・小)	講義	1年	2		2		4単位以上(必修4単位を含む)	4単位以上(必修4単位を含む)	◎	◎			
	保育者論	講義	1年		2		2					◎		
	教育原理	講義	1年	2		2				◎	◎	◎		
	保育原理	講義	1年		2		2					◎		
	発達心理学	講義	1年	2		2		14単位以上(必修8単位を含む)	16単位以上(必修12単位を含む)	◎	◎	◎		
	教育心理学	演習	1年	2		2				◎	◎	◎		
	教育社会学	講義	2年	2		2				◎	◎			
	教育課程論	講義	2年	2		2				◎	◎			
	保育課程論	講義	2年		2		2						◎	
	教育法規	講義	3年		2		2					○	○	
教育史	講義	3年		2		2					○	○		
社会福祉概論	講義	1年		2		2							◎	
社会的養護	講義	1年		2	2							○	◎	
児童家庭福祉	講義	1年		2		2							◎	
保育内容総論	演習	1年		2	2					○	◎			
専門科目	教育・保育対象の理解に関する科目	発達障害論	講義	3年		2	2	50単位以上(必修48単位を含む)	48単位以上(必修44単位を含む)	○	○	○		
		子どもの保健ⅠA	講義	1年		2	2							◎
		子どもの保健ⅠB	講義	1年		2	2							◎
		子どもの保健Ⅱ	演習	2年		2	2							◎
		子どもの食と栄養	演習	3年		2	2							◎
		家庭支援論	講義	3年		2	2							◎
		多文化理解教育	講義	3年		2	2					○	○	○
	教科・教育技能に関する科目	国語	演習	2年	2		2					◎	◎	◎
		社会	演習	2年	2		2					○		
		算数	演習	2年	2		2					◎	◎	○
		理科	演習	2年	2		2					○		
		生活	演習	1年	2		2					◎	◎	○
		音楽Ⅰ	演習	1年	1		1					◎	◎	◎
		音楽Ⅱ	演習	1年	1		1					◎	◎	○
音楽Ⅲ		演習	3年		2	2			○	○	○			
音楽表現技術		演習	2年		1	1			○	○	○			
図画工作		演習	1年	2		2			◎	◎	◎			
家庭	演習	2年		2		2		○						
体育	演習	2年	2		2			◎	◎	◎				
小学校英語	演習	3年		2		2		○						
幼児の科学	演習	3年		2	2				○	○				
総合表現技術	演習	3年		2	2				○	○				
教育・保育の内容・方法に関する	教育方法論	講義	2年	2		2			◎	◎	○			
	保育内容(健康)	演習	2年		2	2					◎	◎		
	保育内容(人間関係)	演習	2年		2	2				◎	◎			

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目				
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保		
専門科目	展開科目	教育・保育の内容・方法に関する科目	保育内容（環境）	演習	2年		2	2	50単位以上 (必修48単位を含む)	48単位以上 (必修44単位を含む)		◎	◎	
			保育内容（言葉）	演習	2年	2		2				◎	◎	
			保育内容（音楽表現）	演習	2年	2		2				◎	◎	
			保育内容（造形表現）	演習	1年	2		2				◎	◎	
			保育内容（身体表現）	演習	2年	2		2				◎	◎	
			国語科教育法	演習	3年	2					2	◎		
			社会科教育法	演習	2年	2					2	◎		
			算数科教育法	演習	2年	2					2	◎		
			理科教育法	演習	2年	2					2	◎		
			生活科教育法	演習	2年	2					2	◎		
			音楽科教育法	演習	3年	2					2	◎		
			図画工作科教育法	演習	2年	2					2	◎		
			家庭科教育法	演習	3年	2					2	◎		
			体育科教育法	演習	3年	2					2	◎		
			小学校英語教育法	演習	3年		2				2	○		
			小学校情報活用教育	講義	2年		2				2	○		
			道徳教育の理論と方法	講義	3年		2				2	◎		
			特別活動の理論と方法	講義	3年		2				2	◎		
			特別支援保育	演習	2年		2	2				○	○	◎
			乳児保育	演習	2年		2				2			◎
	社会的養護内容	演習	2年		2		2			◎				
	指導・相談に関する科目	生徒・進路指導の理論と方法	講義	3年	2			2	◎					
		幼児理解の理論と方法	講義	3年		1	1			◎	○			
		教育・保育相談	演習	3年	2		2		◎	◎	◎			
		相談援助	演習	3年		2		2			◎			
	実習科目	サービス・ラーニング実習Ⅰ	実習	1年		1		1	6単位以上	6単位以上				
		サービス・ラーニング実習Ⅱ	実習	1年		1		1						
		教育実習Ⅰ事前事後指導	演習	3年		2		2				◎		
		教育実習Ⅰ（幼稚園）	実習	3年		4		4				◎		
		教育実習Ⅱ事前事後指導	演習	4年		2		2			◎			
		教育実習Ⅱ（小学校）	実習	4年		4		4			◎			
		保育実習事前指導ⅠA	演習	2年		2		2					◎	
保育実習事前指導ⅠB		演習	2年		2		2					◎		
保育実習指導ⅠA		演習	2年		2		2					◎		
保育実習指導ⅠB		演習	2年		2		2					◎		
保育実習ⅠA		実習	2年		2		2					◎		
保育実習ⅠB		実習	2年		2		2					◎		
保育実習Ⅱ事前事後指導		演習	3年		2		2					◎		
保育実習Ⅲ事前事後指導		演習	3年		2		2					◎		
保育実習Ⅱ		実習	3年		2		2					◎		
保育実習Ⅲ		実習	3年		2		2					◎		
										2科目中各1科目選択必修		●	●	
										2科目中各1科目選択必修		●	●	

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目				
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保		
専門科目	総合実践演習	教職実践演習(幼・小)	演習	4年		2	2科目中各1科目選択必修	2	2単位以上(必修2単位を含む)	2単位以上(選択必修2単位を含む)			●	
		保育実践演習	演習	4年		2					2			●
	ゼミナール	専門演習Ⅰ	演習	3年	2				8単位以上(必修8単位を含む)	8単位以上(必修8単位を含む)	◎	◎		
		専門演習Ⅱ	演習	3年	2									◎
		専門演習Ⅲ	演習	4年	2									
		専門演習Ⅳ	演習	4年	2									
卒業研究			4年		4		4							

(2) 平成30年度入学生適用

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目			
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保	
専門科目	基礎科目	教職概論(幼・小)	講義	1年	2		2	4単位以上(必修4単位を含む)	4単位以上(必修4単位を含む)	◎	◎		
		保育者論	講義	1年		2							◎
		教育原理	講義	1年	2		2				◎	◎	◎
		保育原理	講義	1年		2				2			◎
	基幹科目	発達心理学	講義	1年	2		2	14単位以上(必修8単位を含む)	16単位以上(必修12単位を含む)	◎	◎	◎	
		教育心理学	演習	1年	2		2				◎	◎	◎
		教育社会学	講義	2年	2		2				◎	◎	
		教育課程論	講義	2年	2		2				◎	◎	
		保育課程論	講義	2年		2				2			◎
		教育法規	講義	3年		2				2	○	○	
		教育史	講義	3年		2				2	○	○	
		社会福祉概論	講義	1年		2				2			◎
		社会的養護	講義	1年		2				2		○	◎
		児童家庭福祉	講義	1年		2				2			◎
	保育内容総論	演習	1年		2		2		○	◎			
	展開科目	教育・保育対象の理解に関する科目	発達障害論	講義	3年		2	2	50単位以上(必修48単位を含む)	48単位以上(必修44単位を含む)	○	○	○
			子どもの保健ⅠA	講義	1年		2	2					◎
			子どもの保健ⅠB	講義	1年		2	2					◎
			子どもの保健Ⅱ	演習	2年		2	2					◎
子どもの食と栄養			演習	3年		2	2					◎	
家庭支援論			講義	3年		2	2					◎	
多文化理解教育			講義	3年		2	2				○	○	○

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目			
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保	
専門科目	展開科目 教科・教育技能に関する科目	国語	演習	2年	2		2				◎	◎	◎
		社会	演習	2年	2			2			○		
		算数	演習	2年	2		2				◎	○	○
		理科	演習	2年	2			2			○		
		生活	演習	1年	2		2				◎	◎	○
		音楽Ⅰ	演習	1年	1		1				◎	◎	◎
		音楽Ⅱ	演習	1年	1		1				◎	◎	○
		音楽Ⅲ	演習	3年		2	2				○	○	○
		音楽表現技術	演習	2年		1	1				○	○	○
		図画工作	演習	1年	2		2				◎	◎	◎
		家庭	演習	2年		2		2			○		
		体育	演習	2年	2		2				◎	◎	◎
		小学校英語	演習	3年		2		2			◎		
		幼児の科学	演習	3年		2	2					○	○
		総合表現技術	演習	3年		2	2					○	○
	展開科目 教育・保育の内容・方法に関する科目	教育方法論	講義	2年	2		2		50単位以上 (必修48単位を含む)	48単位以上 (必修44単位を含む)	◎	◎	○
		保育内容(健康)	演習	2年		2	2					◎	◎
		保育内容(人間関係)	演習	2年		2	2					◎	◎
		保育内容(環境)	演習	2年		2	2					◎	◎
		保育内容(言葉)	演習	2年	2		2					◎	◎
		保育内容(音楽表現)	演習	2年	2		2					◎	◎
		保育内容(造形表現)	演習	1年	2		2					◎	◎
		保育内容(身体表現)	演習	2年	2		2					◎	◎
		国語科教育法	演習	3年	2			2			◎		
		社会科教育法	演習	2年	2			2			◎		
		算数科教育法	演習	2年	2			2			◎		
		理科教育法	演習	2年	2			2			◎		
		生活科教育法	演習	2年	2			2			◎		
		音楽科教育法	演習	3年	2			2			◎		
		図画工作科教育法	演習	2年	2			2			◎		
家庭科教育法	演習	3年	2			2			◎				
体育科教育法	演習	3年	2			2			◎				
小学校英語教育法	演習	3年		2		2			◎				

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目					
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保			
展開科目	教育・保育の内容・方法に関する科目	小学校情報活用教育	講義	2年		2		2	50単位以上 (必修48単位を含む)	48単位以上 (必修44単位を含む)	○				
		道徳教育の理論と方法	講義	3年		2		2			◎				
		特別活動の理論と方法	講義	3年		2		2			◎				
		特別支援保育	演習	2年		2	2				○	○	◎		
		乳児保育	演習	2年		2		2					◎		
		社会的養護内容	演習	2年		2		2					◎		
	指導・相談に関する科目	生徒・進路指導の理論と方法	講義	3年	2			2				◎			
		幼児理解の理論と方法	講義	3年		1	1						◎	○	
		教育・保育相談	演習	3年	2		2					◎	◎	◎	
		相談援助	演習	3年		2		2						◎	
	専門科目	実習科目	サービス・ラーニング実習Ⅰ	実習	1年		1				1				
			サービス・ラーニング実習Ⅱ	実習	1年		1				1				
			教育実習Ⅰ事前事後指導	演習	3年		2				2				◎
			教育実習Ⅰ(幼稚園)	実習	3年		4				4				◎
			教育実習Ⅱ事前事後指導	演習	4年		2				2			◎	
			教育実習Ⅱ(小学校)	実習	4年		4				4			◎	
保育実習事前指導ⅠA			演習	2年		2		2				◎			
保育実習事前指導ⅠB			演習	2年		2		2				◎			
保育実習指導ⅠA			演習	2年		2		2				◎			
保育実習指導ⅠB			演習	2年		2		2				◎			
保育実習ⅠA			実習	2年		2		2				◎			
保育実習ⅠB			実習	2年		2		2				◎			
保育実習Ⅱ事前事後指導			演習	3年		2		2				●			
保育実習Ⅲ事前事後指導			演習	3年		2		2				●			
保育実習Ⅱ			実習	3年		2		2				●			
保育実習Ⅲ			実習	3年		2		2				●			
実践演習	総合実	教職実践演習(幼・小)	演習	4年	2			2			◎	◎			
		保育実践演習	演習	4年		2		2				◎			
ゼミナール	専門演習Ⅰ	演習	3年		2		2	8単位以上 (必修8単位を含む)	8単位以上 (必修8単位を含む)						
	専門演習Ⅱ	演習	3年		2		2								
	専門演習Ⅲ	演習	4年		2		2								
	専門演習Ⅳ	演習	4年		2		2								
	卒業研究		4年		4		4								

(3) 平成31年度以降入学生適用

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目				
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保		
専門科目	基礎科目	教育原理	講義	1年	2		2		8単位以上	8単位以上	◎	◎	◎	
		保育原理	講義	1年	2		2						◎	
		発達心理学(幼・小)	講義	1年	2		2				◎	◎	◎	
		教育心理学(幼・小)	講義	1年	2		2				◎	◎	○	
	基幹科目	社会福祉概論	講義	1年	2		2		8単位以上	8単位以上	◎		◎	
		社会的養護	講義	1年	2		2				◎	◎	◎	
		教職概論(幼・小)	講義	1年	2			2			◎	◎		
		保育者論	講義	3年				2						◎
		教育社会学	講義	3年		2		2			◎	◎		
		教育課程論(幼・小)	講義	2年	2			2			◎	◎		
		保育の計画と評価	講義	3年				2						◎
		教育法規	講義	3年		2		2			○	○		
		教育史	講義	3年		2		2			○	○		
		子ども家庭福祉	講義	1年				2						◎
	保育内容総論	演習	1年		2		2			◎	◎			
	展開科目	教育・保育対象の理解に関する科目	子どもの理解と援助	演習	2年			2		25単位以上	20単位以上			◎
			子どもの保健	講義	1年			2						◎
			子どもの健康と安全	演習	3年				2					◎
			子どもの食と栄養	演習	3年				2					◎
			子ども家庭支援論	講義	3年				2					◎
多文化理解教育			講義	3年		2		2	○			○	○	
領域・教科・教育技能に関する科目		幼児と健康	演習	2年		2	2						◎	◎
		幼児と人間関係	演習	2年		2	2						◎	◎
		幼児と環境	演習	2年		2	2						◎	◎
		幼児と言葉	演習	2年		2	2						◎	◎
		幼児と音楽表現	演習	2年		2	2						◎	◎
		幼児と造形表現	演習	1年		2	2						◎	◎
		幼児と身体表現	演習	1年		2	2						◎	◎
		国語	演習	2年	2			2	◎					
		社会	演習	2年	2				◎					
		算数	演習	3年	2			2	◎					
理科	演習	3年	2				◎							

区分	授業科目	授業形態	学年 配当	初等教育コース 必修・選択		幼児教育コース 必修・選択		卒業要件		免許・資格の 科目			
				必修	選択	必修	選択	初等教育 コース	幼児教育 コース	小	幼	保	
専門科目	領域・教科・ 教育技能に関する科目	生活	演習	2年	2		2				◎		○
		音楽基礎	演習	1年	2		2						
		音楽	演習	1年	2			2			◎		
		音楽表現技術	演習	3年		2		2					○
		音楽表現技術特別演習	演習	4年		2		2					
		図画工作	演習	1年	2			2			◎		○
		家庭	演習	3年	2						◎		
		体育	演習	1年	2			2			◎	◎	○
		小学校英語	演習	3年	2						◎		
		総合表現技術	演習	3年	2			2					○
	教育・保育の内容・ 方法に関する科目	教育方法論（幼・小）	講義	2年	2			2			◎	◎	○
		保育内容（健康）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（人間関係）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（環境）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（言葉）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（音楽表現）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（造形表現）	演習	2年		2		2				◎	◎
		保育内容（身体表現）	演習	2年		2		2				◎	◎
		国語科教育法	演習	2年		2					◎		
		社会科教育法	演習	3年		2					◎		
		算数科教育法	演習	3年		2					◎		
		理科教育法	演習	3年		2					◎		
		生活科教育法	演習	2年		2					◎		
		音楽科教育法	演習	2年		2					◎		
		図画工作科教育法	演習	2年		2					◎		
		家庭科教育法	演習	3年		2					◎		
		体育科教育法	演習	2年		2					◎		
		小学校英語教育法	演習	3年		2					◎		
		小学校情報活用教育	講義	1年		2					○		
		特別支援教育論（幼・小）	講義	3年		2		2			◎	◎	
		道徳教育の指導法（小学校）	講義	3年		2					◎		
		総合的な学習の時間の指導法（小学校）	講義	3年		2					◎		
		特別活動の指導法（小学校）	講義	3年		2					◎		
							25単位以上	20単位以上					

区分	授業科目	授業形態	学年配当	初等教育コース必修・選択		幼児教育コース必修・選択		卒業要件		免許・資格の科目						
				必修	選択	必修	選択	初等教育コース	幼児教育コース	小	幼	保				
専門科目	展開科目 教育・保育の内容・方法に関する科目	障害児保育	演習	2年			2		25単位以上	20単位以上			◎			
		乳児保育論	講義	2年			2						◎			
		乳児保育演習	演習	2年				2					◎			
		社会的養護内容	演習	3年				2					◎			
		生徒指導論(小学校)	講義	3年		2						◎				
		進路指導論(小学校)	講義	3年		2						◎				
		幼児理解の理論と方法	講義	3年		2		2					◎	○		
		教育・保育相談	演習	3年		2		2				◎	◎			
		子ども家庭支援の心理学	講義	3年				2						◎		
		子育て支援	演習	3年				2						◎		
		実習科目	サービス・ラーニング実習Ⅰ	実習	1年		2				2					
			サービス・ラーニング実習Ⅱ	実習	1年		2				2					
	幼稚園実習理解		演習	2年		2		2								
	教育実習事前及び事後の指導(幼稚園)		演習	3年		2		2				◎				
	教育実習Ⅰ(幼稚園)		実習	3年		2		2				◎				
	教育実習事前及び事後の指導(小学校)		演習	4年		2					◎					
	教育実習Ⅱ(小学校)		実習	4年		2					◎					
	保育実習事前指導ⅠA		演習	2年				2					◎			
	保育実習事前指導ⅠB		演習	2年				2					◎			
	保育実習指導ⅠA		演習	2年				2					◎			
	保育実習指導ⅠB		演習	2年				2					◎			
	保育実習ⅠA		実習	2年				2					◎			
	保育実習ⅠB		実習	2年				2					◎			
	保育実習Ⅱ事前事後指導		演習	3年				2					※			
	保育実習Ⅲ事前事後指導		演習	3年				2					※			
	保育実習Ⅱ		実習	3年				2					※			
	保育実習Ⅲ		実習	3年				2					※			
	総合実践演習		教職実践演習(幼・小)	演習	4年		2		2			◎	◎			
		保育実践演習	演習	4年				2					◎			
	ゼミナール	専門演習Ⅰ	演習	3年	2		2		8単位以上	8単位以上						
		専門演習Ⅱ	演習	3年	2		2									
		専門演習Ⅲ	演習	4年	2		2									
		専門演習Ⅳ	演習	4年	2		2									
卒業研究			4年		2	2										

